テゴスが鳥獣被害対策をてごう（お手伝い）します！

令和６年７月から農林水産課に週３日（月・水・金）、テゴス職員が駐在しています。

侵入防護柵の設置や環境整備などの現地指導・助言を行うとともに、要望のあった、地域や団体に出向き鳥獣被害対策の講習会を行っています。

【テゴスとは？】

鳥獣被害対策のために、広島県の呼びかけで地域住民と行政の中間支援組織として、一般社団法人広島県鳥獣対策等地域支援機構が設立され、令和６年４月から活動をしています。広島弁の手伝う“てごうする”から、機構の通称をtegos（テゴス）とし、県内の10市町にテゴス職員が駐在しています。

【テゴスの活動内容】

窓口や電話でいただいた相談を基に、被害状況や対策の実施状況の確認を行います。そこで、問題点や改善すべきところを相談者にお伝えし、相談者と一緒に考え被害対策に取組みます。一例として、ワイヤーメッシュ柵をイノシシに突破されて困っているとの相談に対し、現地確認を行い、ワイヤーメッシュ柵修繕を相談者と一緒に行いました。すると、そこからの侵入はなくなり、農地への侵入を防ぐことができました。

他にも、イノシシの生態や対策を農家の皆さまにお伝えする講習会や、現地で対策技術指導も実施しています。

活動内容や対策方法については、テゴスのHPやYouTubeチャンネルでも紹介していますので、ぜひご覧ください。

▲テゴスチャンネル

▲テゴスHP

【私が尾道市の担当です！】

尾道市の担当職員（フィールドアドバイザー）の加下（かした）裕介（ゆうすけ）です。御調町で生まれ育ち、庄原で農業を学び、尾道市農協に６年間在籍。今は祖父母と農業経営をしています。

鳥獣被害対策についての知識、経験は誰にも負けない自信があります。お気軽にご相談ください。一緒に鳥獣被害対策に取り組んでいきましょう。

問農林水産課（☎0848－38－9473）

■料金や申込方法の記載のないものは無料または申込不要です。
日日時・期間　場場所　対対象　内内容　定定員　料料金　持持参物　締締切
申申込方法・申込先　問問い合わせ先　☎電話　FAXファクス　✉電子メール　HPホームページ

多文化共生のまちづくり

「地域日本語教室」

外国人との多文化共生の取り組みとして、ボランティア団体による地域日本語教室が開催されています。

今回は、それぞれの団体による日本語教室の取組についてご紹介します。

●「おのみち日本語教室」

場日比崎・向島公民館　日毎週火曜 19：00～20：30

（活動紹介）

おのみち日本語教室では、支援者が１対１で外国人学習者に日本語支援を行っています。多くの支援者が日本語を教えるのは初めてですが、学習者の希望に合わせて教えながら交流を楽しんでいます。

学習者の多くが仕事のために来日した人ですが、結婚などを理由とした人もおり、国籍も多様で、年々、その数も増えています。現在、支援者と学習者は、それぞれ35人ずつぐらいです。

当教室では、日本語支援だけでなく、外国人が安心して暮らしていける場所づくりも目指しています。

●「みつぎ日本語クラブ」

場みつぎいこい会館　日毎週日曜 10：00～11：30

（活動紹介）

みつぎ日本語クラブでは現在、学習者4人と6人の支援者が１対１で学習しています。

学習者の、日本語を身につけたいという思いは共通ですが、より高い技能資格取得のために専門用語も話せるようになりたい、日本語検定に合格したい、日本語を流暢に話したいなど様々です。

つい最近、ある学習者から、「今日の勉強は楽しかったです。先生、来週もお願いできますか」という一言に大感激。

日本語を学んでみたい人の参加をお待ちしています。

●「まるごと因島日本語教室」

場三庄ふれあいセンター　日毎週水曜 19：30～21：00

（活動紹介）

まるごと因島日本語教室は、因島で暮らす外国人と地域の人々が、言葉や文化を通じてつながる場です。「教える・教えられる」関係をこえて、互いに学び合い、理解し合うことを大切にしています。

地元住民の手で立ち上げた因島初の日本語教室として、外国人と地域との橋渡し役をめざしています。地域に貢献してくれている外国人労働者が、帰国後も因島を「第２のふるさと」として思い出してくれるような、あたたかいつながりを育てていきます。

日本語教室運営ボランティアを募集しています

各教室では、外国人の日本語学習を支援するボランティアを募集しています。

外国語が話せなくても大丈夫です。興味がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

問尾道市国際交流推進協議会（秘書広報課内☎0848－38－9395）